

申 緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HP
はこちら

まなびフェスト（中間評価）について

A：あてはまる B：あてはまるほうだ C：あまりあてはまらない D：あてはまらない
各項目において、肯定的回答（A+B）の割合が80%以上になることを目指しています。

【自主】自ら考え、進んで学習する生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%)
自ら学ぼうとする わかりやすい授業、学ぶ意欲を育む授業 夢・進路・学ぶ意欲を育む言葉がけ	生徒 教員 保護者	87 80 77
自分の考えを深めたり、広げたりする 調べ学習、対話的な学びの場、読書指導の充実 子供との対話、よい本に触れる機会	生徒 教員 保護者	92 80 59
学習状況を把握し、自ら改善する 授業の振り返り、授業と連動した家庭学習 学習に集中できる環境整備	生徒 教員 保護者	84 60 72

下半期における取組（主に課題が見られる項目に対して）

- ・【家庭学習】「何をどのように学習するか」が分からない生徒が多いととらえています。そこで授業の振り返り時間で、何ができるようになり、何がまだ身に付いていないのかを考
える時間を設定し、自主学習につなげられるようにします。また、学習内容が定着するよ
う授業と連動した宿題を出したり、学習の方法について具体的に示したりします。
- ・【読書指導】朝読書や読書マラソン、委員会取組等を通じて本に触れる機会を設けるように
します。ご家庭においても、スマホ・タブレット等から離れて本に親しむ機会を設ける工
夫をお願いします。

【健康】たくましい心身をもち、実践力のある生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%)
生活リズムが整っている 学習・睡眠・メディア時間を自らが決め評価する場 規則正しい食事・睡眠・メディア時間、ルール作り	生徒 教員 保護者	86 100 64
安全感覚を備えている 防災学習・交通安全・犯罪に巻き込まれない指導 通学路の危険箇所・緊急避難先の確認	生徒 教員 保護者	99 100 78
心身が健康である やりがいある活動・心のケア・SOSの出し方 子供の表情・変化の観察、通院・早期治療	生徒 教員 保護者	89 100 90

下半期における取組（主に課題が見られる項目に対して）

- ・【生活リズム】このことは「家庭学習」の取り組みにも関係しています。家庭における時間を上手に使えていない状況があるとらえています。学校では、帰宅してからの時間の使い方（学習時間、メディア使用時間、就寝時刻等）を帰りの会などにおいて自ら決める場を設けタイムマネジメントの力を身に付けさせたいと考えています。
- ・【情報メディア機器の使い方】諸調査において、本校の生徒のメディア使用時間は県平均を大きく超えている結果が出ています。学校においても情報メディアとの関わり方について指導の充実を図ってまいりますが、各家庭においても、スマホやタブレット等の使い方やルールの確認をお願いします。
- ・【防災・安全】各家庭における通学路の危険箇所や緊急避難先の確認が不十分との回答結果が出ています。地震や大雨などの自然災害、熊の出没等、緊急時や身の周りの危険についてぜひご家庭でも話題にしてください。

【友愛】郷土を愛し、心豊かな生徒

目指す生徒の姿／学校の取組／家庭の協力	回答者	肯定的回答(%)
良好な対人関係をつくる 多様性を尊重する集団づくり、教育相談の充実 あいさつの励行、会話	生徒 教員 保護者	96 82 94
自分のよさがわかる 生徒一人一人の活躍の場、よさや成長を認める声かけ 子供の成長やよさ、感謝の言葉、家庭での役割	生徒 教員 保護者	79 100 83
郷土や人の役に立ちたいと思う 郷土学習、地域との関わり、ボランティア活動 親子での地域行事・活動への参加	生徒 教員 保護者	93 100 67

下半期における学校の取組（主に課題が見られる項目に対して）

- ・【自己肯定感】「自分のよさがわかる」という項目については数値の向上がみられます。これまで本校の課題として、教職員は生徒たちへの肯定的な関わりを心がけてきました。また各家庭においてもお子様のよさを理解し、たっぷりの愛情を注いでおられる様子が伝わってきます。今後はさらに、生徒一人一人の活躍の場を設け、小さな成功体験を積み上げながら、自信をもって様々なチャレンジができる生徒の育成に努めてまいります。
- ・【郷土愛】親子での地域行事への参加については、低い数値が示されていますが、今年度は学校への地域の祭り（岩中太鼓演奏）やボランティア参加のお誘いが増えています。生徒たちの進んで参加しようとする姿に触れ、地域全体で子供たちを育てる風土があることを実感しています。ますます地域と学校のつながりが深くなるよう、学校運営協議会委員の皆様のご協力を得ながら進めてまいります。

第2回学校運営協議会

9月14日（木）、第2回学校運営協議会が開かれました。まなびフェスト中間結果については・・・、

- ・学力低下が気になる。今の授業は変わってきたのかもしれないが、昔のように覚え込むことも必要
- ・子供のよさを大切にすることは分かるが、課題点についてもはっきり本人や保護者に伝えることも大切

といったご意見もいただきました。社会に出てから求められる力や学力観が変化する中においても、生徒たちを鍛えることの重要性について改めて認識したところです。

また、今後の地域と連携して行う教育活動について、学校運営協議会の皆様とともに取り組む視点で様々な話し合いがなされました。